

大阪大学外国語学部
2020年度 新入生
オリエンテーション

タイ語専攻

はじめに

- 本来であれば、4月3日に新入生オリエンテーションが開催されて、1時間半くらいの時間かけて、教員との顔合わせと専攻の説明をする予定でしたが、中止となりましたので、その代わりに資料を用意しました。
- 文章ばかりの資料で申し訳ありませんが、これまで皆さんが培ってきた日本語長文読解力を駆使すれば、それほど難しいことはありません。
- それでは、以下の資料をよく読んでおいてください。

1. ご挨拶

- 新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。ようこそ、タイ語専攻へ。
- タイ語専攻は、旧大阪外国語大学のタイ語学科として、1949年に設立されました。その後、2007年の大阪外国語大学と大阪大学の統合を機に、大阪大学外国語学部タイ語専攻となり、今日に至ります。
- 今年入学の新入生の皆さんは72期生になります。

- 皆さんは様々な「思い」をもって、このタイ語専攻に入ってきたことでしょう。その「思い」は人それぞれ違っていても、皆が4年間(場合によっては5年、6年)、タイ語とタイ国に真剣に向き合って勉強することになります。
- 高いタイ語運用能力、タイについての広い知見を持った人材となれるよう、しっかりと勉強してください。
- 皆さんの先輩方の中には、「日本とタイの懸け橋」として活躍している方がたくさんいます。将来そのような人材になってくれることを教員一同、期待しています。

2. タイ語専攻の紹介

- タイ語に精通し、タイ語を基底としたタイの文化や社会への広い知見・深い理解を有した人材を育てることを目標としています。

＝タイ語運用能力+タイの地域研究的知見

- 1・2年次に「専攻語実習科目」でタイ語の運用能力を養い、3・4年次にはそのタイ語の運用能力をもとに、「専攻語演習科目」「専攻講義・演習科目」で、タイの言語・文学・文化・社会についての知見を広めるためのカリキュラムを組んでいます。

カリキュラム(1・2年次の専門科目)

- 専攻語実習: タイ語運用能力の養成。

1年次で5科目、2年次で5科目、計10科目。

※これらはすべて必修科目で、1・2年次でそれぞれ5科目全ての単位を取らないと、次の学年に進めず、留年となります。

- 専攻講義(主として2年次、「東南アジア～概論」の科目): タイを含めた東南アジアについての知見を広める。

※選択必修なので、自分の関心に合わせて履修してください。

カリキュラム(3・4年次の専門科目)

- 専攻語演習: さらに高度なタイ語運用能力の養成を目指す。

※選択必修なので、自分の関心に合わせて履修してください。

- 専攻講義・演習: タイの言語・文学・文化・社会を深く理解することを目指す。

「東南アジア～講義・～演習」という科目もあり、タイを含めた東南アジアについての知見を広めることもできる。

※選択必修なので、自分の関心に合わせて履修してください。

3. タイ語教員紹介

- 専任教員
 - ①宮本マラシー(社会言語学、タイ語学)
 - ②村上忠良(文化人類学、タイ地域研究)
 - ③日向伸介(タイ近現代史、タイ地域研究)
- 特任教員
 - ④マリワン・ブーラナパタナー(タイ語学、タイ語教育)
- 非常勤講師4名(大阪大学以外の研究者、歴史・文学・文化、3・4年次の専門科目)



4. 1年次の科目

専攻語実習(豊中キャンパス)

- タイ語1 月4 担当:村上(タイ文字)
- タイ語5 火4 担当:宮本(タイ語文法)
- タイ語3 水1 担当:日向(タイ文字)
- タイ語4 木2 担当:マリワン(タイ語会話)
- タイ語2 金2 担当:マリワン(タイ語会話)

※タイ語1(村上)とタイ語3(日向)は同じ教科書を使ったリレー形式で行います。

※教室についてはKOANで確認してください。

5. 1年次のテキスト

- 『タイ語』（宮本マラシー・村上忠良、世界の言語シリーズ 大阪大学出版会）

※タイ語2とタイ語4（マリワン）で使います。

- 『タイ語の文法と表現（1）』（宮本マラシー）

※タイ語5（マラシー）の授業で使います。

- 『タイ文字の読み書き ゴーガイ』（宮本マラシー他）

※タイ語1（村上）とタイ語3（日向）で使います。

- 以上3点のテキストは、教員側で用意し、4月3日に学生証配布で箕面キャンパスに来た時に、まとめて渡します。
- それぞれの科目に合わせて持ってきてください。
- 教科書代は以下の通り。対面授業が始まってから徴収します(5月の予定)

	内訳	金額
1	『タイ語』(世界の言語シリーズ9) 大阪大学出版会	3,200 円
2	『タイ語の文法と表現(1)』	1,500 円
3	『タイ文字の読み書き ゴーガイ』	1,600 円
	計	6,300 円

辞書について

初級～中級レベルのタイ日辞書がありますので、各自で適当なものを購入してください。お薦めのものの3点を以下に記載します。

- 『パスポート初級タイ語辞典』（宇戸清治、白水社、4,950円）
- 『プログレッシブ タイ語辞典』（傍土豊、小学館、5,280円）
- 『タイ日・日タイ 簡約タイ語辞典』（松山納、大学書林、15,400円）

※大学生協に加入すると、生協書籍部で図書が割引で購入できます。

6. タイ語専攻での活動予定

- 1年次
 - 夏祭り(7月 箕面キャンパス 自主活動)
 - 夏季短期研修(9月 シンラハコーン大学 希望者)
- 2年次
 - 夏祭り(7月 新箕面キャンパス 自主活動)
 - 夏季短期研修(9月 シンラハコーン大学)
 - 語劇(11月 新箕面キャンパス 授業の一環)
- 3年次
 - 交換留学(タイの交流協定大学 希望者)

7. タイの大学への交換留学

- 「大学全体」の交流協定校（6校、各5名）
チュラーロンコン大学、タマサート大学、チェンマイ大学
マヒドン大学、カセサート大学、モンクット王工科大学
- 「外国語学部」の交流協定校（4校、各3名）
シラパコーン大学文学部、コーンケン大学人文社
会学部、マヒドン大学文学部、カセサート大学人
文学部
- 留学期間：3年次の6月～8月に留学、半年～
1年間（1～2セメスター）

- 留学先の大学で取得した単位の互換認定あり(留学期間を含めて4年での卒業も可能)
- 近年の留学者数:

H26:13名、H27:15名、H28:13名、H29:13名

※タイ語専攻は、外国語学部の中でも最も交換留学協定校が多い専攻です。近年はタイ語専攻の約3分の2の学生が交換留学でタイの大学で勉強する経験をしています。

※1年間に、大学間30名(6校×5名)+学部間12名(4校×3名)で、計42名分の留学枠がありますので、積極的に留学を検討してください。

8. 教員連絡先（箕面キャンパス）

基本的に外国語学部の教員は、箕面キャンパスに研究室があります。豊中キャンパスには授業があるときのみ出講しており、研究室がありませんので気を付けてください。

- 宮本マラシー 電話(研究室):072-730-5278
Eメール: miyamar@lang.osaka-u.ac.jp
- 村上忠良 電話(研究室):072-730-5276
Eメール: mrkmthai@lang.osaka-u.ac.jp
- 日向伸介 電話(研究室):072-730-5493
Eメール: hinata@lang.osaka-u.ac.jp
- マリワン・ブーラナパタナー 電話(研究室):072-730-5279
Eメール: toysuda@hotmail.com

以上でおわりです。

大学での新生活を楽しんで
過ごしてください。